

アイダホ州：小麦作柄と気象状況

2003年5月27日

2003年5月25日現在：

気温が上昇し、日中は各地で90度Fを越した。5月25日に終わる1週間の州平均農作業日数は6.5日であった。降雨が記録されたのは北部地区のみであり、1週間の降水量は0.29~0.70インチであった。全州にて平均気温は平年を2~6度上回ったが、南中央地区(SC)の一部では最低気温が16度まで下がった。同地区の一部の小麦に霜害が発生したとの報告があった。土壌水分が減少し、灌漑用水の供給量も減少した。

天候が回復したことより北部での春小麦の播種は進み、90%の圃場にて完了(昨年同期:100%、平年:99%)した。春小麦は州平均で82%の圃場で出芽し、20%がJointingに入った。北部地区の春小麦の出芽圃場は41%であり、平年並びに昨年より大幅に遅れている。

冬小麦の生育は低温が続いたことで平年より遅れているが、気温が上昇した事よりかなりの進展が見られた。全州の79%の冬小麦がJointing(節間伸長)を完了し、23%が穂孕み期(Boot)となった。出穂は0%と報告された(平年:3%)。

Topsoil 土壌水分：

Topsoil	Very short	Short	Adequate	Surplus
This week (%)	1	22	71	6
Last week (%)	1	16	75	8

灌漑用水：

	Very poor	Poor	Fair	Good	Excellent
Water supply (%)	3	16	38	41	2

小麦作柄状況：

	Very poor	Poor	Fair	Good	Excellent
Winter Wheat (%)	0	1	8	70	21
Spring Wheat (%)	0	4	19	64	13

小麦進捗状況：5月25日現在

Winter Wheat	2003	2002	5-yr Average
Headed	0	0	3

Spring Wheat	North			S. W.			S. Cent.			State		
	5/25	A	Ave	5/25	A	Ave	5/25	A	Ave	5/25	A	Ave
Planted (%)	90	100	99	100	100	100	100	100	100	97	99	98
Emerged (%)	41	84	82	100	100	100	100	99	99	82	91	88

A:2002年同期。 Ave:5年平均

Source: Idaho Agricultural Statistics Service

当該作柄レポートへのご質問は下記宛てにお願い致します。

小川正晃 : E-mail ogawa.max@omicnet.com